

レビュー会の目的

新しい市役所は「ユニバーサルデザイン」を取り入れ、年齢や性別、障害の有無に関わらず、全ての人が安心して利用できる建物を目指します。

令和7年3月に実施したユニバーサルデザインワークショップで寄せられた意見に留意し、設計を進めてきました。今回はその設計内容について、実際に利用する市民の方に説明、内容を共有した上で意見交換を行いました。いただいたご意見は、今後の設計に活かしていきます。

日時 2025年10月5日(日曜日)
会場 大宮区役所 4階 会議室
参加者 20名
(内ハンディキャップをお持ちの方)

- ・視覚 4名
- ・聴覚 1名
- ・精神 2名

参加者の意見の聴取プロセス

計画の説明

ユニバーサルデザイン配慮の確認

意見交換

意見の整理

レビュー会 当日の流れ

設計統轄の仙田氏より、基本設計内容を説明しました。



ユニバーサルデザインに配慮した計画部分について、説明を行いました。



視覚障害をお持ちの方にも建物構成がイメージしやすい“さわれる模型”を用いて説明

市民利用頻度の高い4つのゾーン(外広場、エントランスホール、執務室フロア、議会傍聴席など)について意見交換を行いました。ユニバーサルデザインの専門家、設計者、市の担当者が参加者からの様々な意見を聞き取りました。



ゾーンごとに参加者からの意見を収集し、全体で共有しました。



最後に、新庁舎ユニバーサルデザインアドバイザー高橋氏により、参加者からいただいたご意見を、専門家の視点から分析・整理しました。

